第２期データヘルス計画（中間評価報告書）

青森県市町村職員共済組合

1　中間評価・見直しについての考え方

政府は日本再興戦略（平成25年６月14日閣議決定）において、急速な高齢化や疾病構造の変化に対応し、国民一人ひとりの健康づくりを進めるため、全ての保険者に対し、レセプト・健診データの分析に基づくデータヘルス計画の策定や保健事業の実施などの取組みを求めました。

当組合が策定した「第２期データヘルス計画（平成30年度～令和５年度）」においては、計画の半期終了に当たる令和２年度に中間評価・見直しを行うこととしており、厚生労働省の「データヘルス計画作成の手引き（追補版）」を参考に、計画策定時に「健康課題」として抽出された各項目について、各種保健事業の進捗と目標の達成度を確認し実施します。

したがって、中間評価では「健康課題」の再抽出は行わず、個々の保健事業について、過去３年間の実績値に基づき評価・見直しを行います。

2　保健事業全体の確認　＜第２期データヘルス計画策定時の内容確認＞

番号	健康課題・事業課題の確認	保健事業全体の目的・目標認識	保健事業全体の方向性の確認
1	職場の動線上に健康診断がある組合員とは異なり、被扶養者の特定健診受診率は49%と低率であり、全体の特定健診受診率も80%程度にとどまっている。	令和５年度までに被扶養者の特定健診受診率目標を70%、全体の特定健診受診率目標90%。	年１回、11月に未受診の被扶養者に対して受診勧奨を実施する。
2	特定保健指導実施率が12%台で推移しており、目標値と乖離している。	令和５年度までに特定保健指導の全体の実施率目標45%。	組合員は、所属所とのコラボヘルスにより実施する。被扶養者は、健診当日に指導可能な医療機関と契約し、利便性の向上を図る。
3	血圧・血中脂質・血糖の受診勧奨レベルのリスク保有者のうち、医療機関への未受診者が400人程度存在する。	医療機関受診勧奨及び勧奨後のレセプトによる受診状況を把握し、効果測定を実施する。 令和５年度の受診率目標50%以上。	年１回、国の基準に基づき対象者の抽出を実施する。 勧奨後の効果測定を基に、より効果的、効率的に受診行動に繋げる施策を検討する。
4	1人当たりの医療費においては、全組合集計を大きく上回っており、年々増加傾向にある。	調剤に係る医療費の抑制及び後発医薬品の使用割合の向上。令和５年9月までに後発医薬品の使用率目標80%。	ジェネリック医薬品差額通知、希望シールカードの配付及び広報誌等による情報提供・普及啓発を継続実施。
5	メンタル系疾患の有病者数の増加。	予防対策の強化。 所属所健康管理対策事業15所属所。	メンタルヘルス関連の講演を含め各種セミナーの内容を随時見直す。また、疾病予防対策の一環で実施している所属所健康管理対策事業助成のＰＲ強化。

3　保健事業の経年での進捗把握、評価　＜前期（平成30年度-令和２年度）の保健事業の評価＞

番号	保健事業	目標達成状況（アウトプット・アウトカム）			評価	
		平成30年度	令和元年度	令和２年度	成功要因	阻害要因
1	被扶養者の特定健診	【アウトカム】 目標：受診率52% 実績：受診率45.9%	【アウトカム】 目標：受診率55% 実績：受診率 43.1%	【アウトカム】 目標：受診率60% 実績：実施中	パート先等での受診者に対して健診結果の提供を求めた。	実際の受診状況の把握が十分に出来ていない。
2	組合員の特定保健指導	【アウトプット】 目標：協力所属所8 実績：協力所属所9 【アウトカム】 目標：実施率25% 実績：実施率17.5%	【アウトプット】 目標：協力所属所9 実績：協力所属所9 【アウトカム】 目標：実施率25% 実績：実施率12%	【アウトプット】 目標：協力所属所10 実績：協力所属所9 【アウトカム】 目標：実施率25% 実績：実施中	担当者会議において、職場での実施を依頼。	対象者の理解不足。 対象者の多い所属所では、就業時間内での調整が難しい。
3	全体の特定保健指導	【アウトカム】 目標：実施率20% 実績：実施率17.3%	【アウトカム】 目標：実施率25% 実績：実施率12.1%	【アウトカム】 目標：実施率29% 実績：実施中	平成30年度より特定保健指導の運用見直しによる、セット券の導入。	健診時期・健診結果の遅れにより、保健指導に繋がらない。 同日実施可能な実施機関が少ない。 ２年目以降の継続対象者への対策が必要。
4	がん検診（胃・肺・大腸・前立腺・乳・子宮）助成	【アウトプット】 目標：5,400件 実績：4,166件	【アウトプット】 目標：5,500人 実績：3,390件	【アウトプット】 目標：5,100人 実績：実施中	普及啓発の推進強化。	健診結果の把握。 コロナ禍における受診控。
5	生活習慣病重症化予防勧奨	【アウトプット】 目標：実施374人 （通知配付率100%） 実績：実施374人 【アウトカム】 目標：受診率20% 実績：受診率19%	【アウトプット】 目標：実施382人 （通知配付率100%） 実績：実施382人 【アウトカム】 目標：受診率25% 実績：受診率21%	【アウトプット】 目標：実施348人 （通知配付率100%） 実績：実施348人 【アウトカム】 目標：受診率30% 実績：Ｒ３.7実施	疾病リスクや数値を示したことにより、一定の受診に繋がった。	数年にわたり対象となる者への対策。

番号	保健事業	目標達成状況（アウトプット・アウトカム）			評価	
		平成30年度	令和元年度	令和２年度	成功要因	阻害要因
6	禁煙支援	【アウトプット】 目標：実施30人 実績：実施5人 ※禁煙ｺﾝﾃｽﾄ参加費用助成	【アウトプット】 目標：実施20人 実績：実施8人 ※禁煙ｺﾝﾃｽﾄ参加費用助成	【アウトプット】 目標：実施30人 実績：実施14人 ※禁煙外来費用助成	禁煙啓発プログラム支援からオンラインによる禁煙支援（禁煙外来補助）に変更。	組合員等への周知不足。
7	所属所健康管理対策事業助成	【アウトプット】 目標：実施所属所7 実績：実施所属所6	【アウトプット】 目標：実施所属所7 実績：実施所属所5	【アウトプット】 目標：実施所属所7 実績：実施所属所5	メンタルヘルス対策等の推進。	所属所とのコミュニケーション不足。
8	ジェネリック医薬品差額通知	【アウトカム】 目標：使用割合80% （H30.9） 実績：使用割合76.65% （H31.3）	【アウトカム】 目標：使用割合80% （R1.9） 実績：使用割合 79.39% （R2.3）	【アウトカム】 目標：使用割合80% （R2.9） 実績：使用割合80.02% （R2.12）	差額効果額等の見直し。	通知内容等の継続的な改善が必要。

4　後期における計画（見直し）　＜後期（令和３年度-令和５年度）の保健事業の見直し＞

番号	保健事業	目標設定（アウトプット・アウトカム）			実施体制及び実施方法（ストラクチャー・プロセス）の見直し
		令和３年度	令和４年度	令和５年度	
1	被扶養者の特定健診	【アウトカム】 目標：受診率65.5%	【アウトカム】 目標：受診率67%	【アウトカム】 目標：受診率70%	未受診の被扶養者に対する受診勧奨通知の継続。 がん検診とセット受診による利便性向上についての周知。
2	組合員の特定保健指導	【アウトプット】 目標：協力所属所10 【アウトカム】 目標：実施率20%	【アウトプット】 目標：協力所属所12 【アウトカム】 目標：実施率25%	【アウトプット】 目標：協力所属所15 【アウトカム】 目標：実施率30%	健康スコアリングレポートを活用した所属所への働きかけ。 実施率が低い所属所への訪問を検討。 対象者が参加しやすい環境を整備。
3	全体の特定保健指導	【アウトカム】 目標：実施率25% 特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率25%	【アウトカム】 目標：実施率28% 特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率26%	【アウトカム】 目標：実施率30%以上 特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率28%	外部委託業者によるＩＣＴを活用した特定保健指導の導入メリットについて検討。
4	がん検診（胃・肺・大腸・前立腺・乳・子宮）助成	【アウトプット】 目標：4,800件	【アウトプット】 目標：5,000件	【アウトプット】 目標：5,200件	助成限度額の引き上げなど受診機会拡大に向けた施策検討。
5	生活習慣病重症化予防勧奨	【アウトプット】 目標：通知配付率100% 【アウトカム】 目標：受診率30%	【アウトプット】 目標：通知配付率100% 【アウトカム】 目標：受診率40%	【アウトプット】 目標：通知配付率100% 【アウトカム】 目標：受診率50%	レセプト・健診データ分析結果に基づき、対象者へのより効果的な通知について検討・実施。
6	禁煙支援	【アウトプット】 目標：実施30人 【アウトカム】 目標：成功率90%	【アウトプット】 目標：実施40人 【アウトカム】 目標：成功率93%	【アウトプット】 目標：実施50人 【アウトカム】 目標：成功率95%	オンライン診療終了後に禁煙状況を確認し、アウトカムを評価。
7	所属所健康管理対策事業助成	【アウトカム】 目標：実施所属所7	【アウトカム】 目標：実施所属所10	【アウトカム】 目標：実施所属所15	健康スコアリングレポートを活用した所属所への働きかけ。

番号	保健事業	目標設定（アウトプット・アウトカム）			実施体制及び実施方法（ストラクチャー・プロセス）の見直し
		令和３年度	令和４年度	令和５年度	
8	ジェネリック医薬品差額通知	【アウトカム】 目標：使用割合80%	【アウトカム】 目標：使用割合80%以上	【アウトカム】 目標：使用割合80%以上	目標達成により効果的となるような通知にするべく、対象者の絞り込み設定等について再確認。
9	バーチャルウォーキング	【アウトプット】 目標：実施200人	【アウトプット】 目標：実施300人	【アウトプット】 目標：実施400人	ウォーキングアプリを活用して行う健康支援イベントの開催。 インセンティブ提供の効果検証。 委託業者は適宜見直し。

5　第２期データヘルス計画後期における保健事業について（まとめ）

第２期データヘルス計画の後期における取り組みとして、令和３年度からレセプト・健診データの分析を外部委託業者へ委託します。専門性のある外部委託業者との間で、現状分析の結果や事業目的を共有し、連携して健康課題の解決に取り組み、効率的かつ実効性の高い対策を講じていきます。

分析結果に基づき、所属所とのコラボヘルスや職場における組合員の健康管理、要医療者への効果的な受診勧奨に繋がるよう進めていきます。

また、各種保健事業に関しては、新型コロナウイルス感染症の流行により、感染症予防に配慮した実施が求められることから、ICTを活用した特定保健指導の導入、各種セミナーや教室等のオンラインによる実施ウエイトを高め、より組合員等のニーズに合った効率的な事業展開を図り、目標達成に向けて推進していきます。